

WEB公開版

APAIE2024 パース大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》 出展団体アンケート集計結果

回答：ブース出展 18団体中 18団体（回答率：100%）

-
- ◎大会終了後（2024年4月）にWEBアンケートを実施。
 - ◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。

1

APAIE2024パース大会に出展した理由を教えてください。

1. 出展理由 (複数選択可)

回答数=18

APAIEは世界中、特にアジア・環太平洋地域から多くの大学・教育機関の担当者が参加し、短期間で効率的に打合せができるから

既存提携校との交流・打ち合わせ

協定校を増やすなど新規開拓のため

広報したい新規のプログラム・プロジェクトがあった

出展することで大学・機関のブランド力を上げる、プレゼンスを示すため

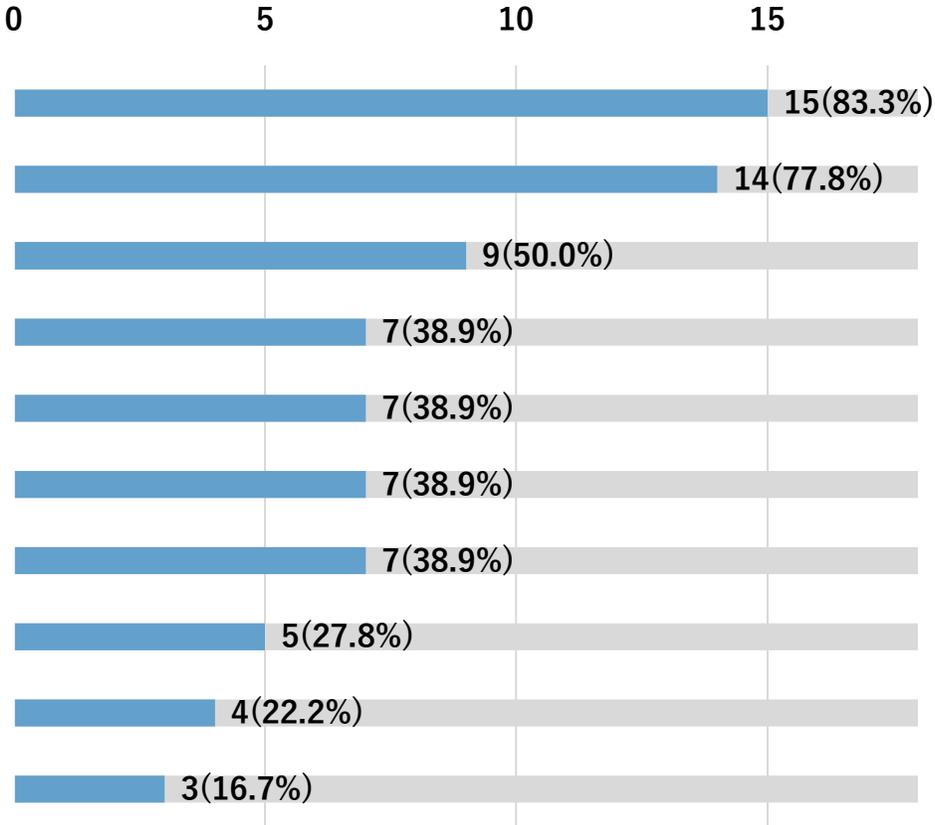
セッション参加等で世界各地の最新動向の情報収集をするため

国内大学とのネットワーキングの強化

開催場所がパースであること (オーストラリアの大学の参加が多いと期待したため)

人材育成 (スタッフ研修) のため

その他



※その他 (3)

■ JAFSAの会長校であるため

■ パースの協定校 (西オーストラリア大学) への訪問

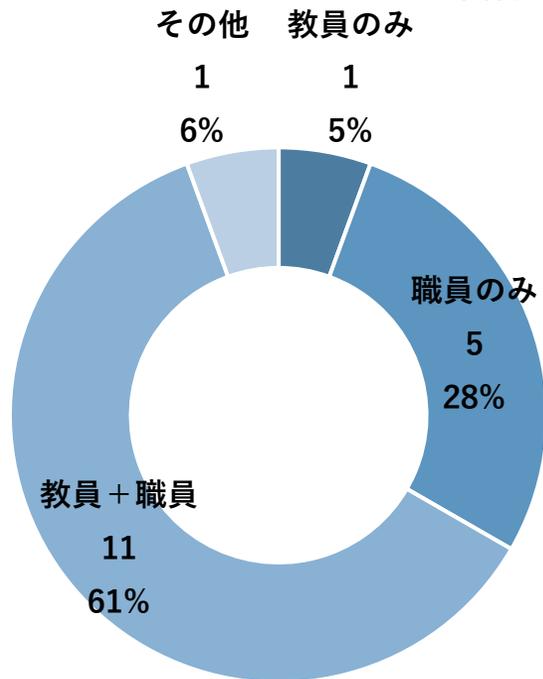
■ 開催地パースに協定校があることもプラス要因ではありました

2

ブース対応の出展参加者について伺います。

2-1. 出展者カテゴリー (複数選択可)

回答数=18

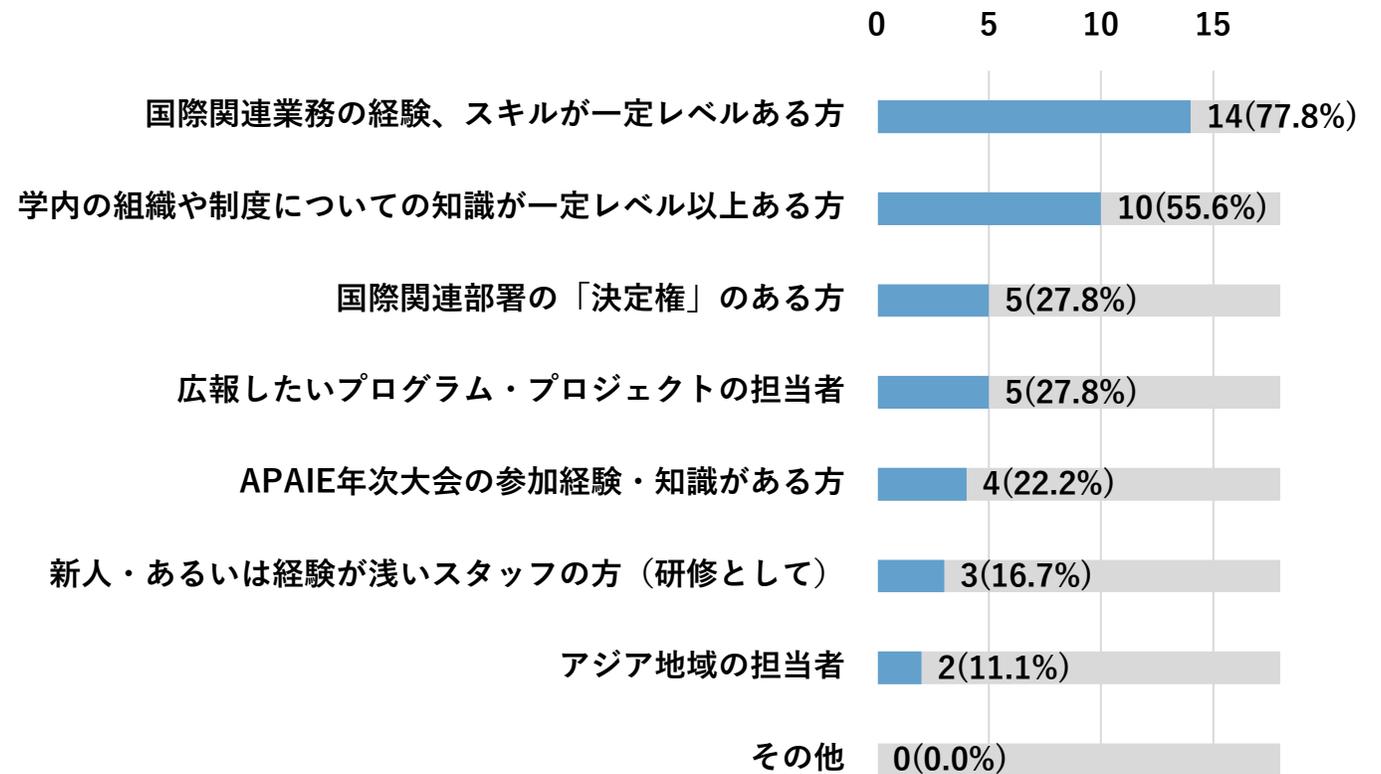


※その他 (1) ■ 弊社の社員

※複数回答可としていたが、単一回答のみのため円グラフにて集計

2-2. 出展者選出の基準 (複数選択可)

回答数=18

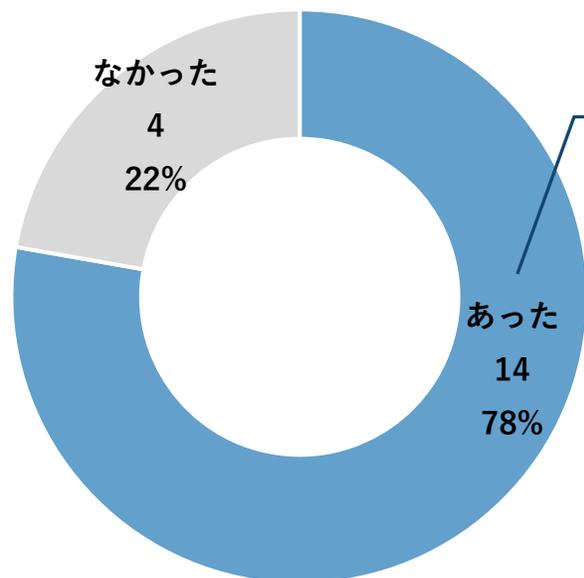


3

今回のAPAIE2024の出展参加について、 昨今の円安やインフレの影響はありましたか。

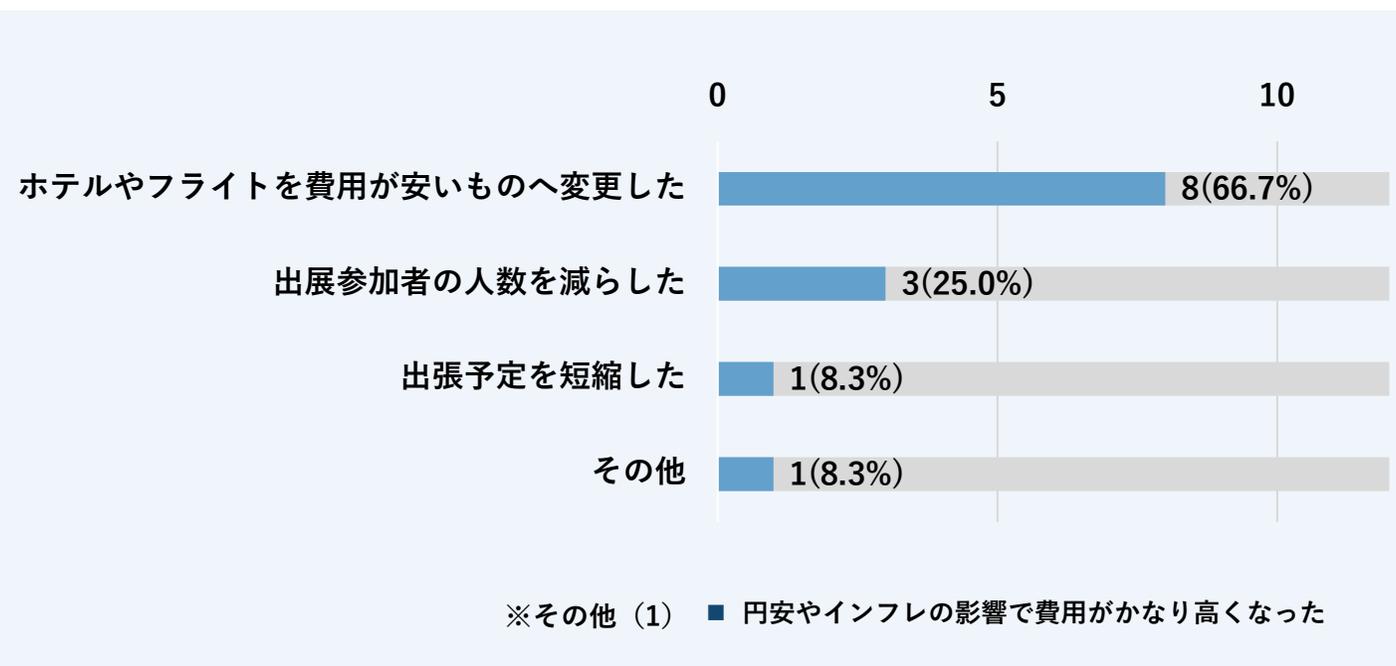
3-1. インフレ影響の有無 (単一選択)

回答数=18



3-2. インフレ影響の内容 (複数選択可)

回答数=12

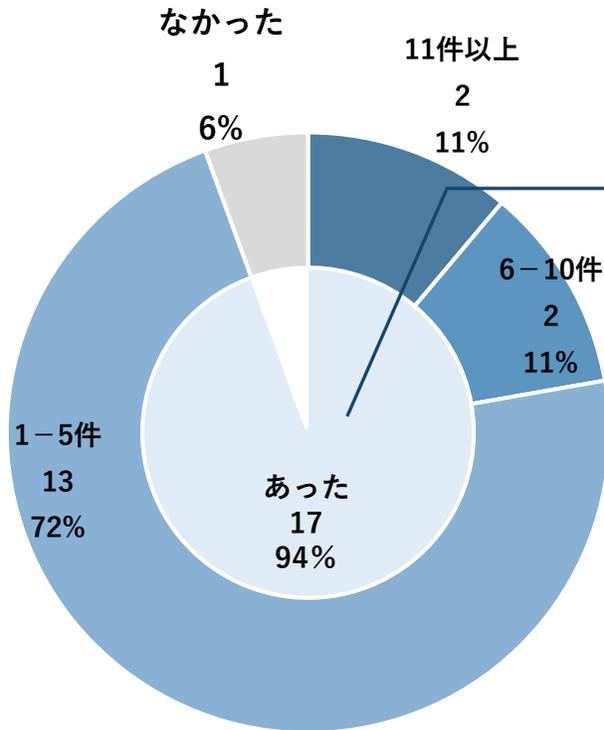


4

対面の大会では、事前のアポイント無しブース訪問が生まれやすいと思います。
 貴学ブースでも「飛び入りの打合せ」がありましたか。

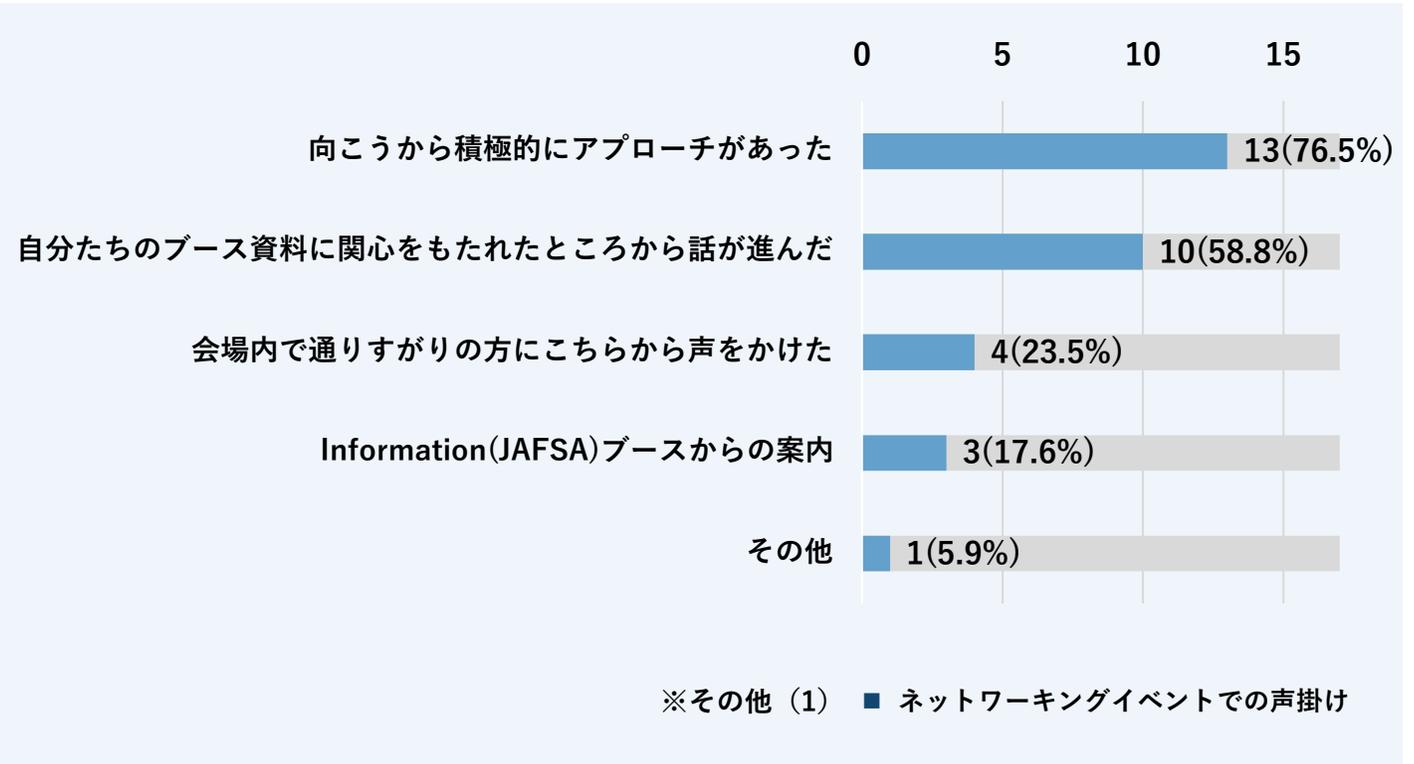
4-1. 飛び入りの打合せ件数 (単一選択)

回答数=18



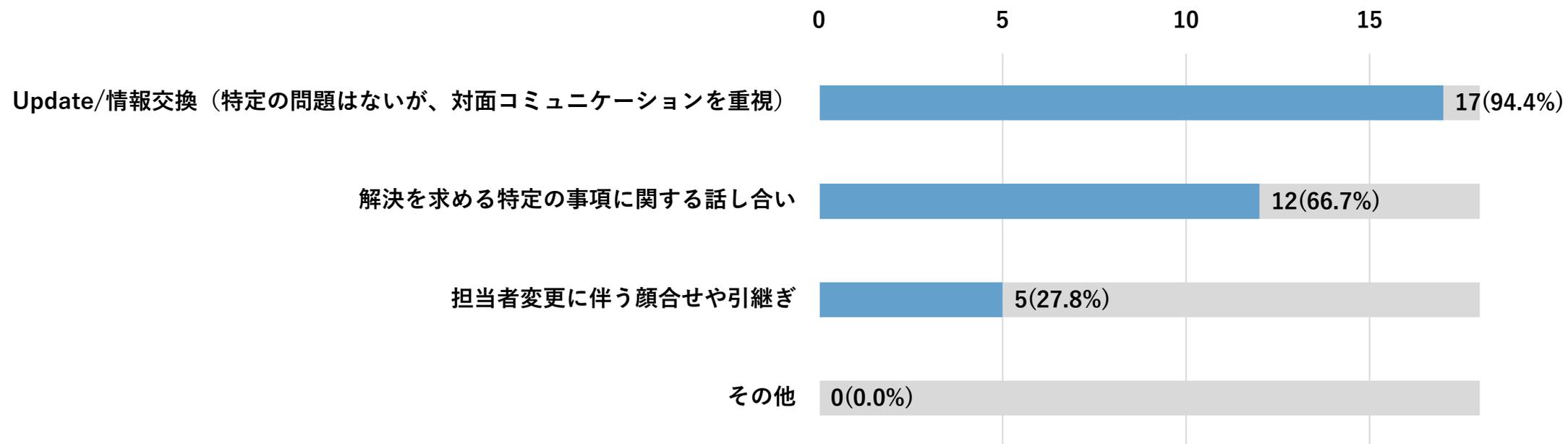
4-2. 打合せのきっかけ (複数選択可)

回答数=17



5 既存の協定校とは、どのような打合せをされましたか。

5. 既存協定校との打合せ内容（複数選択可） 回答数=18

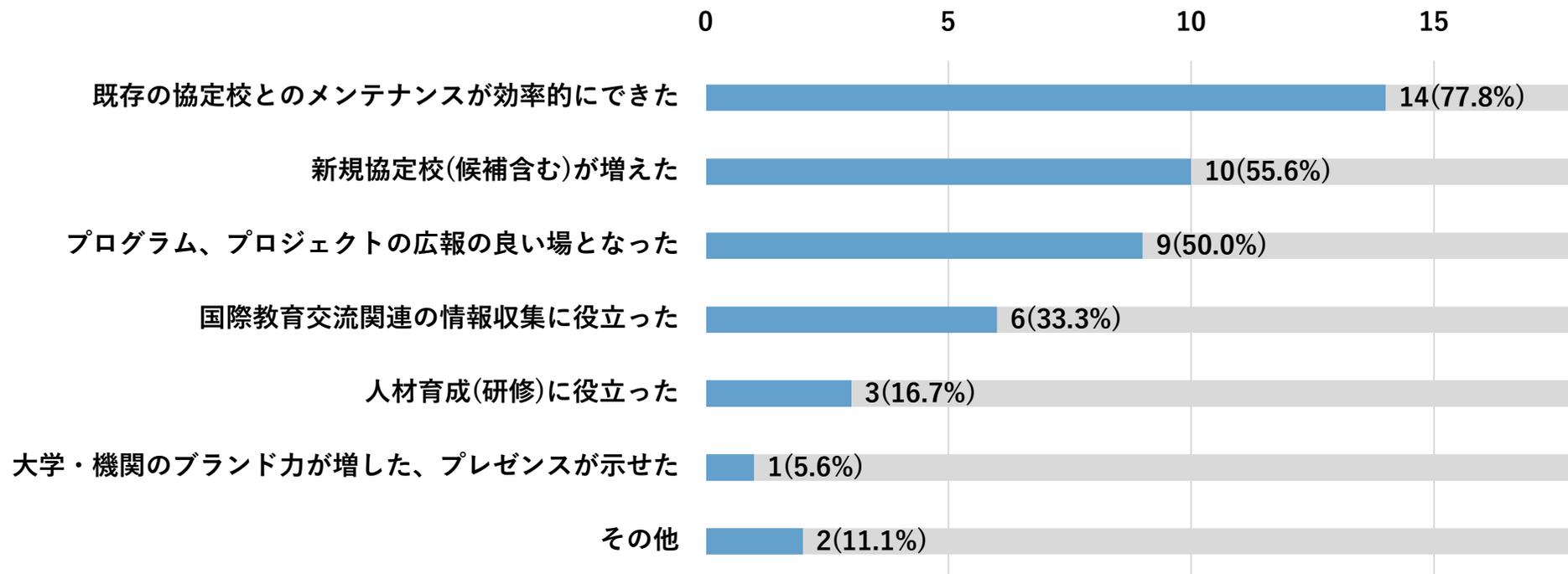


6

出展した成果について教えてください。

6-1. 出展成果（複数選択可）

回答数=18



※その他（2）

- 協定校候補が増えて、話を進んでいます
- いまだフォローアップ中で成果については判断する段階にない。

6

出展した成果について教えてください。

6-2. 成果の具体的な内容 (自由記述) 回答数=11

- オーストラリア、西オーストラリア州の教育事情、留学事情の傾向を知ることができた／打ち合わせや何気ない会話の中から連携可能性のアイデアが生まれた／ふだんなかなかアプローチできない有力大学などに突撃営業ができた等々
- 新規協定締結について4校と交渉開始した。
- 新規協定校が増えただけではなく、戦略的協力関係の構築に役にたった
- 今回のAPAIEは日本から多くの人に参加していたため、各大学とネットワーキング・関係性構築ができた。
- アジア地域のこれまであまり縁がなかった大学と話をすることができ、今後につながる結びつきができた。
- 協定校への新しいプログラムの紹介や、新規協定校候補を見つけることができた。
- 協定を結ぶためにその後コンタクトをとっている大学が2校ある。今回の大きな目的としていた短期留学派遣先として2件ほど検討している。
- 【新規協定校(候補含む)が増えた】⇒協定校候補先が4～5校増えた。特に豪大使館・領事館のほかオーストラリアの複数の大学とネットワークを得ることができ、今後の連携の可能性を拡大することができた。
【プログラム、プロジェクトの広報の良い場となった】⇒効果的にターゲットを絞ってこちらの短期プログラム等の広報を行うことができた。また、先方のプログラムの情報を持ち帰ることができた。
【国際教育交流関連の情報収集に役立った】⇒APAIEにて国際教育交流関係の情報収集を得たことはもちろんのこと、夜に開かれる各種交流会にてネットワークを拡げ、情報収集を行うことができたのは収穫であった。
- 新規協定に繋げるかどうかは今後の作業次第ではあるが、ポテンシャルのある面談が複数できた。既協定校との面談ではメール等では交渉しにくい懸案事項について話をし進展させることができた。ただし、今回は協定校の参加が少なく、メンテナンスのための面談は割合としては少なかった。
- 約15大学との協議を実施できた。これまで学生交流の少なかったインドの大学との具体的な協議を実施できた。

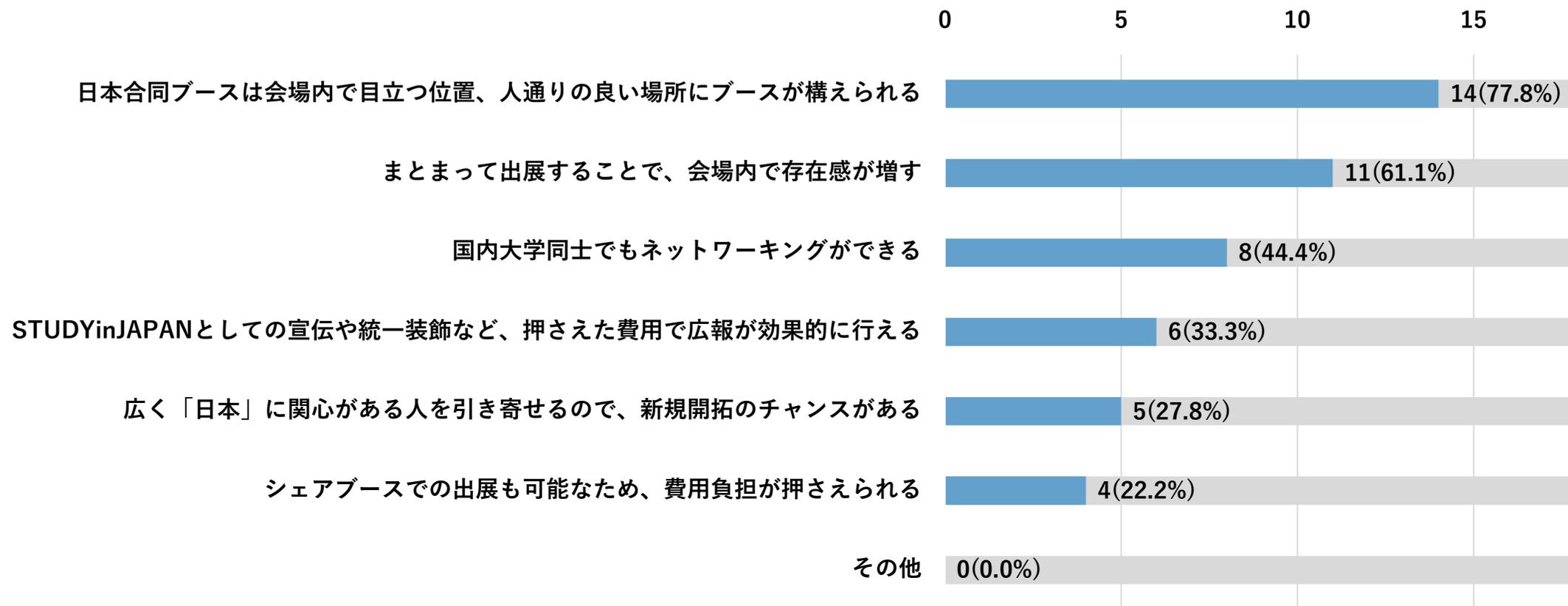
7

単独ブース(1大学のみで出展)でなく、

「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか。

7. 「日本合同ブース」出展のメリット (3つまで選択可)

回答数=18



8. APAIE2024の感想・意見（自由記述・抜粋）

- 今回は会場入り口付近の目立つ場所で良かったと思う。
一方で、裏道（香港ブース側）は人通りがほとんどなく、目につきにくいと感じました。今回はほぼフルでアポイントが入っていたため、飛び入りの対応は必要なかったが、STUDY in JAPAN周囲の人の動線も踏まえて、資料の準備をしなければならないと感じた。
- 国内外の大学とコミュニケーションを取れる良い機会となった。STUDY in JAPANブースに出展することで、日本に興味のある大学が立ち寄ってくれたため、もともとアポイントをとっていな大学・機関と交流・情報交換ができた。
また、海外の大学と面談をする機会があまりないので、良い職員研修の機会にもなった。またぜひ参加させていただきたい。
- 全体の参加人数は少なく、協定校の参加も少なかったため、当初は新規を含むどの程度の内容の面談（数）を達成して成果を出すことができるか不安があったものの、結果として活動内容は充実し、成果も例年以上に感じることもできた。STUDY in JAPANのブースのロケーションも大変わかりやすく、広報に大きな効果があったと思う。JAFSAブースで配布している日本ブースのブースガイドのデータを調べて本学にアプローチしてくれた大学も複数あった。近年予算との兼ね合いから大型出張となる国際留学フェアへの出展については是か非か検討されることが多い中で、日本合同ブースへの出展効果については部内のレポートでもポジティブに報告をした。
- APAIEには初めて参加したが、アジアをターゲットとした大学が集まっておりミーティングを設定しやすいこと、適度な規模感、昼食付であること等、出展のしやすさを感じた。
- ヨーロッパからの参加大学が予想よりも少ないと感じた。